優秀賞

時間の大切さ

大洗町立南中学校　二年
久住茉奈

皆さんは、時間を大切に使うことができていますか。「はい」と言える人は少ないでしょう。私も時間を大切に使うことができているとは言えません。

まず、働いている大人の労働時間から時間について考えたいと思います。近年、プレミアムフライデーや働き方改革などができています。労働時間についても見直されるようになりました。

しかし、それらは働いている人全てに行われていることではありません。以前、私の父は深夜一時頃に帰ってくることもありました。朝も私が起きる前に会社に行ってしまいます。だから、休日にしか会えないこともありました。最近は、八時や九時には帰ってきています。早くはなっていますが、定時に仕事を終わりにして帰ってくることはほとんどありません。それに、休日出勤しても代わりの休みをもらうことはありません。

一方で、母は、最近は早く帰ってくることが多くなりました。それに、休日出勤した場合は、平日に休みをとることがあります。それだけでなく、有給休暇をよく使っています。母に聞くと、上司から

「有給が余っているから、使って」

と言われたことがあったそうです。

このことから、働き方改革については施行されていると考えました。もっと厳しく法律に従えば多くの人が時間を気にした生活ができると思います。

一方で、プレミアムフライデーについてはあまり行われていないと感じています。それは身の回りの人だけなのか

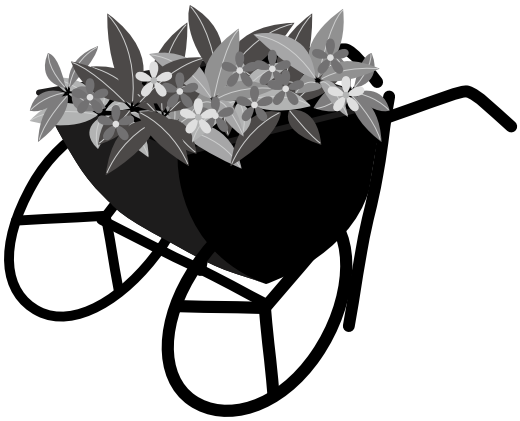
と思い、調べてみました。やはり、一割から二割くらいしか実施されていませんでした。しかし、実施直後よりは増えています。

このような二つの取り組みができたことによって、一部の人だけでも労働時間が短くなることは良いことだと思います。これからもっと実施されれば、皆が法律に従えることになります。それに、時間をよりよく使えるようになると思います。だから、働き方改革やプレミアムフライデーが全国のどんな人もできるようになってほしいと思います。

次に、自分の学校生活から時間について考えたいと思います。南中には三つの宝「時・礼・美」があります。三つの宝「時」に注目してみたいと思います。「時」とは、五分前行動・三分前着席のことです。南中は、移動教室です。先生が教室に来るのではなく、生徒が各教科の教室に行きます。そのため、授業と授業の間は十分間休みがあります。しかし、チャイムは鳴りません。だから、前の授業が時間より遅く終わることもあります。また、着替えたり、授業の準備をしたりすると次の授業に間に合わなくなりそうな時もあります。それに、移動にも時間がかかります。その時、クラスの人達は、

「次の授業に間に合わないかも」

などと言っています。間に合わないと思っても時間を意識していることは良いことだと私は思います。

南中の宝の一つ「時」は私達生徒に良い影響を与えています。そして、一人一人がそれを意識することができています。中学生の頃から時間が意識できることは、将来にも役立つと思います。例えば、時間に厳しくなることで生活に余裕を持つことができたり、上手な時間の使い方を見つけ新しいことにチャレンジしたりすることができます。

だから、将来のためにも、今のうちから時間を意識した行動をしていきたいと思います。そして、今よりも時間を大切にして過ごしていきたいです。